

## 道路特定財源期限切れ、怒りの中後期高齢者医療制度など新年度スタート

2月25日からつづいた予算議会が26日に終了、年度末と4月の新年度へ向けてあわただしい時期が経過しました。4月1日は、怒りのなかで後期高齢者医療制度がスタートするとともに、3月31日で道路特定財源と暫定税率が期限切れとなりました。この日は全国いっせいに宣伝行動が行われましたが松阪市議団もJR松阪駅頭などで宣伝行動を行いました。

## 駅西再開発へ強い批判が…。「国保」の請願でも共同広がる

2月予算議会では、代表質問などをおして、市民生活や「格差と貧困」、財政調整基金や地方交付税をはじめとする予算編成の基本問題、駅西再開発、市民病院の赤字予算、国保、後期高齢者医療制度、保育園民営化、中心市街地活性化計画などを取り上げ、市長の政治姿勢について、一部の勝ち組づくりと市民への負担押し付け、行政の責任放棄ではないかと迫りました。一般会計予算で駅西再開発関係事業費6億4000万円と保健医療福祉総合センターの「債務負担」23億5千万円の削除、海外視察の削除を内容とする修正案を他の議員1名とともに提出、この賛成は5人でしたが、一方市長の提案した原案にも32人中11人が反対、批判の大きさを示しました。また19年度一般会計の最終補正予算では駅西地区再開発事業費2億3400万円のうち1億6800万円の削減と6600万円の「繰越明許」という措置が行われましたが、その執行のあり方や行政姿勢を徹底追及し採決では、賛成多数となったものの、議員32人中、反対が10人となり批判の強さが改めて示される結果となりました。

「国保をよくする会」から1,310人の署名をつけて提出された「国保税の値上げ中止」などを内容とする請願が、日本共産党以外にも3人の紹介議員ができ、採決でも「継続審査」となりました。後期高齢者医療などの負担への怒りの声が反映しています。

市政の問題点が明らかになり、議会内外の共同がさらに広がった議会となりました。



今井 一久  
☎21-7615



久松 みちお  
☎21-2811



松田 千代  
☎ 26-0390



たけだ 哲彦  
☎ 51-6088

## 住民の切実な声、要求の運動が議会、市政を動かす

今回の予算議会を通して、切実な市民の声とねばり強い運動が議会や市当局を動かして多くの要求が実現しました。

昨年来、生活と健康を守る会をはじめ要求してきた就学援助の給食費、修学旅行の費用がこれまでの75%支給から100%支給へ改善されました。新日本婦人の会が議会請願して採択された妊産婦健診が5回無料になりました。

三重県の動向が揺れ動いた福祉医療制度でしたが、子ども医療費が就学前まで無料化、福祉医療費が精神1級まで拡充されるなどの前進がはかられています。

### 注目！週刊誌が次々“日本共産党、志位委員長特集”

このところ「週刊朝日」や「サンデー毎日」といった週刊誌での日本共産党の志位委員長の特集が話題を呼んでいます。4月4日号の「週刊朝日」は5ページ立てで“日本共産党宣言・志位和夫日本共産党委員長 資本主義を叱る”という特集を組み非正規雇用をはじめ今の日本の現状を「ルールなき資本主義」と分析、「格差と貧困」などを語っています。

「サンデー毎日」は2月9日の衆議院予算委員会の“派遣労働問題”の質疑のことを伝えその後インターネットで12万件を超えるメールが寄せられていることなどを紹介、「なぜか大ウケ・共産志位人気に自民、民主が脅えている」という見出しがつけられています。

### 「共産党議員の発言が多い…」と投書に 松阪でも注目集まる？

「夕刊三重」で「発言少ない市会議員は何をしているのですか」という見出しの投書がありました。その冒頭で『夕刊三重』の市議会関係の記事を見ていると、共産党議員が発言（質疑）している記録が多い」とあってその理由が「記者は、市民にとって重大であると思われることを書いているからだろう。今は駅西再開発問題が多いが」と述べられています。注目いただいていることはありがたいことです。

市議団の質疑などについて市民にとって重大なことを取り上げていると受け止めていただいているとすれば、議員団にとって、大きな励ましとなるものです。

発言の少ない議員への批判のあと、この投書の結びの部分に「歳費も安くはないし、市民のために心して頑張ってもらいたいと思う」とあります。発言の記録が多いことの評価をいただいた上は、こうした市民のみなさんのご期待に沿うようこれからもしっかりと取り組んでいくよう決意を新たにしました。

ご意見をおよせください

☆日本共産党中部地区委員会 ☎ 059-225-3550

☆日本共産党松阪市委員会 ☎ 52-0925 fax 52-0926

☆日本共産党松阪市議会議員団控室(市役所内) ☎ 53-4444